

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

出会いの扉

このコーナーでは、市内で活動している団体・サークルを紹介します。広報紙でPRして活動の輪を広げ、仲間を増やしてみませんか。掲載希望は市民広報課まで(☎65-6504)。※営利や宗教・政治・選挙を目的とするもの、限られた地区の住民が参加する活動や団体などは掲載できません。

団体名 よさこいチーム 渡衆

<代表者> 鈴木 健太郎さん

(☎080-1473-4425)

活動場所・日時 彦根城陽小学校体育館

毎週月曜日19時30分~21時30分

長浜西中学校体育館

毎週金曜日19時30分~21時



活動 PR

「膝を付き合わせて話す」という言葉があります。スマホやネットの進化により直接会って表情を見たり、話したりする機会がどんどん減っています。

本当に大事な言葉。「ありがとう」「ごめんなさい」「好きです」などの言葉ですら直接言えない子どもたちが増えていくのではないかでしょうか。

よさこいは他のものと違い、老若男女問わず参加できるというメリットがあります。

「幅広い年代の人たち」と踊りを通して「膝を付き合わせて話す」ことのできる数少ない場所を作っています。「よさこい」とは平たくいえば「ダンス」になりますが、我々は「踊る技術」だけではなく「社会で生きる力」を育んでいきます。

只今メンバー募集中です。興味を持つていただける人はぜひご連絡ください。

勇気を持って「出会いの扉」を開けてくださいね!心よりお待ちしております。

11月8日(日)

プロ顔負けの公演でした

中心市街地のコミュニティ再生のため、「長浜ゆう歌舞伎」が今年も曳山博物館で開催されました。

今年の演目は、「仮名手本忠臣蔵 七段目祇園一力茶屋の場」。県内各地から8人の演者が公募で集まり、熱のこもった演技で観客を魅了していました。また、地元の人もスタッフとして支え、公演を盛り上げました。



11月15日(日)

大切な人と愛を結ぶ「恋人の聖地」

奥びわ湖パークウェイつづらお崎展望台に、市内初となる恋人の聖地「丸子船が運ぶ恋・奥びわ湖長浜」が誕生し、シンボルとなるモニュメントの除幕式が行われました。

イベントでは、Can'ce♡浜姫がイメージラブソングを披露。地元の小学生カップルをはじめ、約40組の夫婦やカップルが「これからも仲良しでいられますように」と想いを込めて、モニュメントに赤いリボンを結びました。



このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほつとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほつとにゅ~す」検索

11月1日(日)

郷土の英傑 石田三成公を顕彰

秀吉を支えた秀才・三成公の出生地、石田町で「石田三成祭」が行われました。

三成公の命日にあわせ毎年11月に開いているもので、供養塔で営まれた413回忌法要には県内外から多くの三成ファンが集まり、手をあわせました。

イベントでは和太鼓やダンス、講演会が催されたほか、戦国屋台も出店され多くの人が賑わいました。



11月1日(日)

世界の国から「こんにちは」

地域に暮らす外国人と日本人が交流し、異文化への理解を深めようと、「ながはま多文化共生フェスタ」が臨湖で開催されました。

ホールでは、子どもたちによるダンスやタイの民族舞踊、ブラジルのダンスが披露されたほか、国際カラオケ大会やハロウィン仮装コンテストが行われ、フェイスペイントを楽しんだ子どもたちで賑わいました。また、各種体験コーナーや12か国の料理屋台が軒を連ね、訪れた人々は思い思いに異国文化を楽しみました。



11月7日(土)

交流の輪が広がりました

豊かな自然環境に恵まれ、歴史と文化の宝庫でもある滋賀県湖北地域への移住・定住を促進することを目的に、余呉湖畔で「田舎暮らしフェスタ2015」が開催されました。

会場では、湖北の暮らしを語る女子会などが行われ、湖北に来たきっかけ、住む良さなどが語られたほか、共催の余呉湖まつりでは、地元産の食材をふんだんに使った模擬店が、多くの人で賑わいました。



11月7日(土)

戦争と平和を考える

長浜市平和祈念式典が浅井文化ホールで行われ、戦没者の遺族など約480人が参列、献花を行いました。

市内の小中学生も参加し、平和都市宣言文の朗読のほか、長小合唱団が平和を願う賛歌、湖北中生は戦跡訪問事業の感想文を発表。平和な世界を願う想いを切々と伝えました。

日本遺族会名誉顧問の古賀誠氏が「戦後70年を迎えて」と題して講演し、自身の体験を通じた平和への想いなどを語りました。